

令和4年度丹波篠山市立篠山中学校 経営方針

1 教育目標

基礎力・思考力・実践力をもち、支えあい学びあう生徒の育成

[基礎力:知識・技能 思考力:思考力・判断力・表現力等 実践力:学びに向かう力、人間性等]

2 めざす学校像

未来の学びに向けて対話がこだまする学校～ジグソーパズルからブロックパズルの学びへ～

[指導の重点]

- (1) さわやかな環境：安全安心な環境づくり
- (2) ささえあう仲間：将来や社会の糸口をつかむ仲間づくり
- (3) やくどうする授業：主体的・対話的で深く学ぶ授業づくり
- (4) まごころあふれる集団：生徒と大人が真摯に向き合う集団づくり

3 めざす生徒像

基礎力・思考力・実践力をもち、支えあい学びあう生徒

[教育活動で現われる姿]

- (1) さきよみする感性：現実世界を理解し意味づけできる感性
- (2) ささえあう力：板挟みや想定外と向き合い調整する力
- (3) やりぬく力・まとめる力：責任をもって遂行する力

4 めざす教師像

教育は“今日行く” 素早く丁寧に、そして笑顔で

～以德育徳 以才培才 以情動情 以行導行～

5 めざす学校・家庭・地域連携像

ワイ(夢・キャリア)・ワイ(やりがい)・ワイ(やすらぎ)

まごころで生徒と大人が熟議するコミュニティ・スクール

6 指導の重点と実践項目

(1) さわやかな環境 (安全安心な環境づくり)

自らの命を守り抜く安全・防災・健康教育

- ① 感染症、食、アレルギー、飲酒喫煙薬物乱用防止をはじめ、情報進展に伴う事件・事故、防災、環境保全、国民保護等、健康・安全に係る情報を的確に判断し、主体的に行動する実践力を育成する。
特に、感染症の感染及び拡大のリスクを低減する環境づくりと指導に家庭と協力して努める。
「感染源を絶つ」毎朝の検温、健康観察 「感染経路を絶つ」手洗い徹底、マスク着用、近距離・大声での会話禁止、消毒・清掃
「抵抗力を高める」十分な睡眠、適度な運動及びバランスの取れた食事に係る指導 「三密を避ける」適切な換気
- ② 時間厳守や体幹保持など「きびきびした生活」、換気、環境美化整備など「すがすがしい環境」、挨拶など「さわやかな仲間」をはじめとして、安全安心で規律ある教育環境を確立する。
- ③ 学校安全マニュアルに基づき安全点検の徹底や体育授業等におけるきめ細かい生徒観察により事故の未然防止を図るとともに、定期的な緊急連絡体制の確認により、事故に即時即応する。
- ④ 体育・スポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせることにより、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。
- ⑤ 家庭や地域、関係機関と連携した防災防犯体制を確立するとともに、危険箇所の把握・改善や予告なし避難訓練、自転車点検・自転車保険への加入等を通して安全に対する意識の高揚を図る。

(2) ささえあう仲間（将来や社会の糸口をつかむ仲間づくり）

ア 誇りを感じる学校・学級集団

- ① 学校生活の課題について、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、話し合い、合意形成、意思決定して改善することを通し、課題解決力や人間関係形成・社会参画する力を育てる。
- ② 生徒会・教科係が生活・学習の諸課題について協力・協働して改善する活動やルールメイキングを通して、学校内外の生活・学習マネジメント能力を育てる。
- ③ 学校行事の選択と集中を通して、集団への所属感・連帯感を高めたり、高い目標をもち、自己を生かし、協力して課題解決したりする主体的、実践的な態度を育てる。
- ④ ノー部活デー（木曜日と土日いずれか）による心身ともゆとりのある中で、効率的、効果的に部活動を行い、自発的・自主的に心身を鍛える生徒を育成する。持続可能な部活動のあり方を検討する。

イ 存在感や成就感を大切にした生徒指導

- ① 生徒が存在感を実感する中で自己肯定感、自己指導力やコミュニケーション力を高めるよう、対話的な学習指導や体験的な集団活動を通して命と人権を根幹に据えた開発的生徒指導を進める。
- ② 学年担任制による多様な相談体制、ICTによる迅速な調査、スクールカウンセラーとの連携など、ガイダンスとカウンセリングの双方から、問題行動、不登校等の未然防止、早期発見・対応する。
- ③ 学校基本方針や生徒会「No More いじめ宣言」により、いじめの定義や実態を啓発し、家庭・地域・関係機関と連携しいじめ対応を進める。いじめアンケート、生活ノート等は、複数の目で点検をし、小さな変化を見逃さず、いじめを組織的、積極的に認知し、早期解決を図る。
- ④ 生徒指導方針、いじめ防止基本方針を発信し、地域と一体となった生徒指導を進めるとともに、警察、福祉、医療等の関係機関と連携しケース会議等による組織的・計画的な個別支援を行う。
- ⑤ 情報技術の仕組み、個人情報、肖像権や著作権の権利、端末利用によるトラブル等を正しく理解させるとともに、保護者と連携し使用時間や使用目的等の利用実態を的確に把握し、関係機関を活用しながら、デジタルシティズンシップ教育を進める。また、相談機関を生徒・保護者に周知する。

ウ 豊かな人間性・社会性を育む道德教育、人権教育

- ① 他者や自己との「対話」による「深い学び」をめざした「特別の教科 道德」を要とし、教育活動全体で、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養う。（中心発問の精査・評価を含めたローテンション授業）
- ② 人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かせるよう、全教育活動を通じて計画的に命と人権の大切さを教え、共に生きる心を育む。
- ③ 地域に根ざした伝統芸能や多様な芸術を鑑賞したり、地域貢献活動に参加したりすることにより、ふるさと「丹波篠山」を愛する心を培い、我が国や外国の文化・伝統を理解し、尊重し合う生徒の育成を図る。

(3) やくどうする授業（主体的・対話的で深く学ぶ授業づくり）

ア 将来や社会の糸口をつかむキャリア教育

- ① 職業構造の変化や新産業の創出、SDGs等も踏まえつつ、国際的視野に立って学ぶことと将来や社会とのつながりを考え、社会的・職業的自立に向けた資質・能力や社会参画する意欲・態度を育む。
- ② 生徒が能動的に生き方を考え、自らの意思と責任で自らのよさを生かす進路を選択できるよう、キャリア・パスポートを有効に活用し、キャリア形成に資する個に応じた組織的・計画的な指導を行う。
- ③ ライフプランを含めたキャリア教育を通じて、主体的に生涯の生活を設計し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）や、社会における自分の役割、自分らしい生き方について考えさせる。
- ④ 体験活動のねらいを明確にし、事前事後指導を充実することを通して、地域の人々とのつながりを深め、勤労・奉仕等を尊ぶ心や、愛郷心、社会の一員としての自覚、社会参画への意欲、態度を養う。

イ 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善

- ① 授業スタンダード(予習・目標理解・個人思考・集団思考・振り返り)に基づき、各教科等の見方・考え方を創発し、個と集団を思考が行き来する「主知的・対話的で深い学び」を進めるとともに、目標と授業の流れを生徒と共有し、学びを実感できる振り返りを行えるよう指導と評価の一体化を図る。
- ② 空間的・時間的制約を緩和するICT環境等を用いて、知識・技能の定着を図る「個別最適な学び」、仲間の考えから自己の考えを深める「協働的な学び」、自己の学びを改善し、推進し続ける「主体的な態度」における学びの質を高める取組を推進する。(休校時等：家庭学習支援の双方向機能活用)
- ③ 知識・技能が他教科等や生活で活用できるよう、繰り返し学習等指導方法の工夫及び見通しのある予習、振り返りのある復習を含む家庭学習のガイダンスや課題の個別化、放課後学習の充実を図る。
- ④ 新学習システムを活用した少人数指導や補充的な学習、発展的な学習など、系統性を重視したつまずきの解消を図り、確実に学力を定着させる個別最適な学びの授業改善を進める。
- ⑤ 特別支援教育を中核に据え、教育支援計画における合理的配慮と一貫性のある支援、及びユニバーサルデザインについて、全教職員の共通理解のもと組織的にPDCAサイクルを推進し、豊かな人間関係づくり、ともに伸びる力を育成する。
- ⑥ 授業時数を確保し、言語能力(英語によるコミュニケーション能力を含む)、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や現在の諸課題に対応する資質・能力を教科横断的な視点で計画的に育成する。
- ⑦ 読書への興味を深めるとともに、創意工夫して読解力向上の取組を推進する。

(4) まごころあふれる集団(生徒と大人が真摯に向き合う集団づくり)

ア 支え愛に満ちた活気あるコミュニティ・スクール

- ① ホームページ、学校だより、オープンスクール等により、めざすべき子ども像や教育活動の目標や内容を具体的に説明し、家庭・地域の参画を促進する社会に開かれた教育課程を進める。
- ② 生徒会と学校地域運営協議会が協議する「四つの力委員会」により、社会や将来の糸口となる、夢・やりがい・やすらぎ(安全安心)を体感する教育を進める。
- ③ 学校地域運営協議会の協力やICTを活用した社会連携により、教育課程の評価改善や、企業等による人的物的支援などを行いながら、カリキュラムマネジメントを進める。
- ④ 小・中・高等学校の連携を密にし、児童生徒・教職員・地域の交流を通して、地域の学校としての学びと育ちの連続性を確立する。

イ まごころで子どもとともに学ぶ教職員組織

- ① 教育は“今日行く”を行動の基本におき、生徒・保護者・地域住民のつぶやきに敏感に気づき、複数で即時即日対話し、課題と改善の方向性を共有する。(素早く丁寧に、そして笑顔で)
- ② 兵庫県資質向上指標により育成目標を重点化し、学年担任制、一人一研究授業、ケース会議等事例研修を通じ、保護者や地域の期待に応えられる豊かな人間性、専門性と実践的指導力の向上をめざし、研究と修養に努める。
- ③ 法令、社会通念に基づき、非違行為は教職員全体の信用・信頼を損なうことを深く理解し、教職員としての誇りと責任をもって自己の行動を律するとともに、情報機器の進展、グローバル化など社会の変化に対応した教育観を培う。(職員申し合わせ事項の実行)
- ④ 1人1台タブレットを利用した校務・業務の効率化・情報化、事務作業精選、バック・キャストイング(ゴールを精選し、逆算して計画)による教育活動、会議の効率化(会議資料の事前配布)、ノ一部活デー(木曜日と土日いずれか)や定時退勤日の徹底、記録簿によるタイムマネジメント、計画的な年休取得などワークライフバランスの保持と勤務時間の適正化を進める。

丹波篠山市立篠山中学校「授業スタンダード」

基本の約束

- 環境美化・準備完了
- チャイムで開始・終了
- 元気なあいさつ
- 学ぶ姿勢、運筆
- 意欲的な発表
- 相手を見て伝え聴く
- 積極的な話し合い
- 理解度を自己チェック

1 目標理解 **ハッキリ! 目標・見通し**

- 予習で授業の「目標（～を使って～できる）」と「見通し（授業の流れ）」を **さ**きよみする
- 導入で目標、見通しを確認する

2 個人思考 **シッカリ! 基礎・基本**

- 学習用語や図表を使って、考えたり、書いたりする

3 集団思考 **ミッチリ! 思考・対話**

- ペア・グループで **さ**さえあう
- 相手を見て、具体的・論理的に考えを伝える
- 自分の考えと比較、関連、整理、類別して聴く
- 記録、要約、説明、論述等を発表する

4 振り返り **バッチリ! 振り返り・実践**

- 考えを修正・推敲・改善し **ま**とめる
- 目標に対し **や**りぬいたか自己評価する

令和4年度 丹波篠山市立篠山中学校スクールプラン

【めざす学校像】

未来の学びに向けて対話がこだまする学校
～ジグソーパズルからブロックパズルの学びへ～

- (1)さわやかな環境:安全安心な環境づくり
- (2)ささえあう仲間:将来や社会の糸口をつかむ仲間づくり
- (3)やكدうする授業:主体的・対話的で深く学ぶ授業づくり
- (4)まごころあふれる集団:生徒と大人が真摯に向き合う集団づくり

【めざす教師像】

教育は“今日行く”
素早く丁寧に、そして笑顔で
「以德育徳 以才培才 以情動情 以行導行」

【学校教育目標】

基礎力・思考力・実践力をもち、
支えあい学びあう生徒の育成

【めざす生徒像】

基礎力・思考力・実践力をもち、支えあい学びあう生徒

- (1)さきよみする感性 :現実世界を理解し意味づけできる感性
- (2)ささえあう力:板挟みや想定外と向き合い調整する力
- (3)やりぬく力・まとめる力:責任をもって遂行する力

【めざす地域連携像】

ワイ(夢・キャリア)・ワイ(やりがい)・ワイ(やすらぎ)
まごころで生徒と大人が熟議するコミュニティ・スクール

【さわやか 健やかな体】

【ささえあい 生徒指導】

【やكدう 学力向上】

【まごころ 社会に開かれた教育課程】

【重点目標】

【具体的な取組】

【重点目標】

【具体的な取組】

1 自らの命を守り抜く安全・防災・健康教育

- 感染症リスク低減など安全・健康についての確に判断し行動する実践力育成
- 「きびきびした生活」、「すがすがしい環境」、「さわやかな仲間」をはじめとして安全安心で規律ある環境を確立
- 安全マニュアルに基づく安全点検・生徒観察・緊急体制の徹底
- 心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成
- 家庭・地域と連携した防災防犯強化

○危険予知能力と危険回避能力の育成

- ・生徒会・PTA あいさつ運動
 - ・安全点検(教職員、保護者、生徒)及び生徒観察の徹底、行事等の安全対策強化
 - ・安全・健康に係る啓発強化講演会等の計画的実施
- 事故の前年比減

3 存在感や成就感を大切に生徒指導

- 自己肯定感、自己指導力、コミュニケーション力を高める命と人権を根幹に据えた開発的生徒指導
- 学年担任制によるガバナンス・カンパニを進め、問題行動、不登校等の未然防止
- No More いじめ宣言等生徒会の啓発や複数の目による早期発見・対応
- 方針の発信、関係機関と連携したケース会議等組織的計画的指導
- 関係機関と連携したデジタルシティズンシップ教育の推進、相談窓口周知

○教育相談の充実

- ・教育相談の即時即日実施、記録、共有
 - いじめの積極的認知と解消率 100%
 - ・ICTに係る関係機関と連携した指導や生徒会、部活動による自発的啓発
- ネットトラブル前年比減

5 将来や社会の糸口をつかむキャリア教育

- 職業構造の変化や新産業の創出、SDGs等も踏まえ、国際的視野に立つて学びと将来・社会のつながりを考える中で社会的・職業的自立や社会参画の資質・能力等を育成
- 生徒が能動的に生き方を考え、自らの意思と責任で進路を選択できるようキャリアパスポート等による個に応じた進路指導の充実
- ねらいを明確に事前事後指導を充実させた体験活動により、愛郷心、社会参画への意欲態度を育成

○将来や社会の糸口をつかむ生き方の検討

- ・キャリアノートや地域人材を活用した進路指導
- 夢や目標を持つ生徒の前年比増

7 支え愛に満ちた活気あふるコミュニティ・スクール

- めざす子ども像や教育活動を具体的に説明し、参観、参画を促進する社会に開かれた教育課程の推進
- 学校運営協議会と生徒会が連携した四つの力委員会による教育課程の評価改善や、企業等による人的物的支援などのカリキュラムマネジメント、ICTを活用した社会との連携
- 小・中・高等学校の連携強化

○生徒会と学校地域運営協議会の連携

- ・生徒・保護者・地域代表・教職員から構成する四つの力委員会実施、地域人材を活用した教育活動の推進
- 四つの力委員会、地域人材活用の毎学期開催

2 誇りを感じる学校・学級集団

- 話し合い合意形成・協力して改善することを通して、課題解決力や人間関係形成、社会参画する力の育成
- 生徒会・教科係が生活・学習を改善したりルールメイキングしたりする過程を通してマネジメント能力育成
- 集団への所属感・連帯感を高めたり、協力して課題解決したりする主体的、実践的な態度の育成
- ノー部活デーの心身ともゆとりの中で効率的、効果的な部活動運営、持続可能な部活動の検討

○課題解決能力・人間関係形成力を図る生活・学習マネジメント能力の育成

- ・生徒会活動、教科係活動によるマネジメント活動の実施と点検
 - ・部活動計画と部長会による部活動の効率的運営
- 達成感を感じる生徒前年比増
(市調査 頑張ったと認めてもらえる)

4 豊かな人間性・社会性を育む道徳教育、人権教育

- 中心発問の精査・評価を含めたローテーション授業により、他者や自己との「対話」による「深い学び」をめざした特別の教科道徳を要として教育活動全体で道徳性を向上
- 人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念を生活に生かす教育の推進
- 地域人材による学習や地域貢献活動により、ふるさと「丹波篠山」を愛するふるさと教育推進

○他者や自己と対話する「特別の教科道徳」の充実

- ・ローテーションによる授業授業研究と評価の充実
- 生徒アンケート「自ら考え表現し交流することができた」前年比増
- 篠山を知り篠山を愛するふるさと教育の充実
- ・地域人材を活用した授業と地域貢献活動による双方向の地域との交流
- 生徒アンケート「篠山を知ることができた」前年比増

6 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導

- 授業スタンダードにより個と集団の間を思考が行き来する授業や、目標と授業の流れを生徒と共有し、学びを実感して振り返りを行える授業
- ICTによる個別最適な学び、協働的な学びなど学びの質を改善
- 繰り返し学習や予習復習等によるつまづきの解消、家庭学習の充実
- エバーサルデザインや合理的配慮で一貫性のある個別の支援の充実
- 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能等を教科横断的視点で育成

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・予習・対話・振り返りを核とする授業スタンダードの全教育活動での実施
- 授業がわかりやすい生徒前年比増
- 予習をする生徒前年比増

○特別支援の検証改善

- ・特別支援教育委員会で合理的配慮・エバーサルデザインの検証改善
- 学期に1回の評価検証

8 まごころで子どもとともに学ぶ教職員組織

- 生徒・保護者・地域住民のつぶやきに気づき、複数で即時即日対応し、課題と改善の両向きを共有
- 兵庫県資質向上指標に基づく育成目標の重点化、学年担任制、研究授業、事例研究等による専門性と実践的指導力向上
- 法、社会通念に基づく誇りと責任、社会の変化に対応した教育観
- 一人一台パソコン活用による校務・会議の効率化、記録簿によるタイムマネジメントなどワークライフバランス保持とバック・キャストイングによる業務改善

○生徒と対話・教師で対話

- ・教育相談・情報共有徹底
- 生徒との対話数の増加
- 授業スタンダードによる授業研究
- ・予習と対話を核にした授業研究の実施
- 1回以上の授業研究の推進
- 効率的・効果的な校務の推進
- ・会議・校務の効率化・記録簿によるタイムマネジメントの徹底
- 職員会議の電子化、効率化(月1回1時間)

【研究主題】 主体的な学びと仲間との学び合いを通して生徒が学びを創造する授業改善

【県】学校安全(防災)総合支援事業

【学校】ICT活用を中心とした授業・学級経営のユニバーサル化及び業務改善

令和4年度 学校業務改善方針 ～ムリ・ムダ・ムラの一層の改善～

丹波篠山市立篠山中学校

1 定時退勤日・ノー会議デー

- ① 学校だよりによる定時退勤日・ノー活デー等の趣旨と実施日の周知
- ② 定時退勤日の徹底
- ③ 会議の精選
 - ・職員会議月1回、学校改革推進委員会、生徒指導委員会の時間割内実施
 - ・月曜日6校時の特別支援教育委員会の活用
- ④ 会議・研修の効率化・開催方法の工夫
 - 会議資料は事前にフォルダへ、提案は要点のみ説明、提案時間・終了時刻設定
- ⑤ 会議の長期休業中集中実施
- ⑥ 授業研究会における参観シートを活用した実施日内総括

2 学校行事の選択と集中

- ① 生徒がゆとりの中で教育効果を発揮するための選択と集中及び効果的配置
 - 授業の成果発表の場、生徒が主体的に活動する場、安全安心に取り組める場
 - バック・キャストイング（ゴールを精選し、逆算して計画）による教育活動計画
- ② 登下校指導の効率化

3 部活動の負担軽減

- ① 平日は週1日以上、土日いずれかノー活デー 長期休業中の6日間連続休み
朝練習廃止
- ② 部活動部長会を活用し部活動の自治力向上・保護者啓発
 - スポーツ障害や燃え尽き症候群等の防止、学業や地域活動との両立、家族とのふれあいの観点も含めた適切な部活動の在り方

4 外部人材の活用促進

- ① 学校運営協議会の連携のもと外部人材の積極的な活用

5 教職員の意識改革

- ① ワーク・ライフ・バランス、タイムマネジメントを意識し、記録簿を活用した計画的な業務遂行
- ② 学習指導要領全面実施を踏まえ、効率的・効果的な教育課程編成及びICT活用
- ③ 学習評価、通信等の端的かつ明確な保護者連絡文書作成、類似書類削除
- ④ 学年担任制による業務分担・相互協力（学級担任の負担軽減、特別支援学級を含む）、校務の主代表・副代表制
- ⑤ 感染症予防対策をはじめ、生徒及び教職員の健康管理

6 校務・業務の効率化・情報化の推進

- ① データの一元化、様式等の共通化、生徒・保護者アンケートのデジタル化
- ② 会議の電子化、掲示板活用（会議資料の事前配布・要点を提案、朝の連絡簡素化）
- ③ 時間割、生徒会連絡、部活動連絡等での一人一台タブレットを利用した生徒連絡
- ④ 道徳のローテーション授業、評価も学年全体で分担
- ⑤ 予算の積極的な活用：学校要覧の印刷等
- ⑥ 通信類のホームページ、連絡網サービス活用

7 勤務環境の整備年次休暇の取得促進、

- ① 年間10日間の年次休暇を計画的に取得（学校閉庁日の活用）